



フィットテスト成功の秘訣は トレーニングにあり

アプリケーションノートITI-031 (A4)

マスクフィットテストについて知っている多くの人は、フィットテストの目的はフェイスピースのサイズ決定、すなわち、特定の個人がS、M、Lの何れのサイズのマスクを使用すべきかどうかを見つけることであると思込んでいます。この見解は、フィットテストの重要な側面を如実に表すものですが、唯一のものではなく、もっとも重要なものでもありません。

個々にフィットテストを実施する第一の理由は、マスク装着の訓練を受け、実際に正しく装着する方法を習得しているか否かを確認することです。マスクサイズ設定は重要ですが、二次的なものです。マスク装着者がその装着方法を知らない場合、それが適切なサイズであるかどうかにかかわらず、提供される保護レベルが損なわれることになります。

優れた呼吸保護プログラムには、マスク着用者個々のための呼吸保護具特有の訓練が含まれます。終日講習を開催する組織もあれば、短時間で済ませる組織もありますが、例外なく、呼吸保護具の使用について、なぜ、どんな理由で使用するのかを受講者は学び、マスクを使用する機会を与えられています。

フィットテストは、最終試験と考える必要があります。学生は、教室での指導や実践的な演習を含むトレーニングコースを受講し、実際に教材を学習したかどうかを判断するために試験を受けます。同時に、マスクを正しく着用していると仮定すると、どのサイズのフェイスピースが自分に適しているかがわかります。

一部の呼吸保護プログラム管理者は、フィットテストのトレーニングの側面を完全には理解していません。従業員、特に新入社員は、フィットテストエリアに案内され、誰かに自分の顔に呼吸保護具を装着されストラップを調整されます。フィットテストが実行され、結果が良好である場合、それで済まされてしまいます。その従業員は、以前に呼吸保護具を見たことがないかもしれません。被験者の事前トレーニングは明らかに必要のない聴覚テストのように、フィットテストは実施される傾向があります。確かなことが1つあります。耳を持ってきてだけで聴力テストをするのと同じように、顔を持ってきてだけではフィットテストの準備ができていないのです。その人が呼吸保護具を着用する時が来たらどうなりますか？ 従業員に呼吸保護具を装着する人は誰もいませんし、誰も助けなしでそれを行う方法を知りません。

この例は、フィットテストの主な目的が経験または過失によって無視されている状況を示しています。フェイスピースのサイジングの二次的で重要性の低い項目を強調すると、この従業員と組織に潜在的に危険な状況が発生します。リスクに、マスクを着用していない訓練を受けていない従業員の数を掛けると、状況の重大さと、誰かが遅かれ早かれ有害物質に過度に曝露されるという不快なほど高い確率が簡単にわかります。



呼吸保護具のトレーニングを受けたことのない人にフィットテストを実施することが許容される場合もあります。これは、テストが就職前の身体的検査の一部であり、その人に適用可能な呼吸保護具を入手できるかどうかを判断するためだけに実施される場合です。採用に際しては、後日、適切な訓練とその後の徹底的なフィットテストを実施します。

見落とされがちな良好なフィットテストプログラムのもう一つの重要な要素は、フィットテストを実施する人々のトレーニングの問題です。組織のフィットテストプログラムは、最も弱い構成要素と同程度となります。テスト管理者の専門知識は、平凡なプログラムと素晴らしいプログラムの違いを生む可能性があります。

残念なシナリオの1つは、自分の診療所を運営するのに十分な規模の組織で発生することがあります。呼吸保護プログラムを担当する産業衛生士は、PortaCount® Respirator Fit Testerをクリニックに提供し、スタッフに通常の肺機能、聴覚およびその他のテストとともにフィットテストを含めるように指示して去ってしまいます。

クリニックのスタッフは、通常呼吸器保護のバックグラウンドをまったく持っていないため、しばしば不十分なフィットテストをもたらします。質の良いフィットテストを提供するには、テスト実施者が、関連する問題と影響を十分に認識している必要があります。彼らはなぜテストが必要で、なぜそれが重要なのかを知る必要があります。彼らは何をすべきか、そして同じくらい重要なこととして何をすべきでないかを知る必要があります。マスクのサイズが間違っているのか、それとも正しく着用されていないのかなど、特定の個人がフィットテストに失敗した理由をすばやく特定できるように、マスクを自分で適切に着用する方法を知っている必要があります。

十分に訓練されたテスト管理者は、フィットテスト作業の効率と品質を大幅に向上させます。問題が本当に装着技能にある場合に、間違ったサイズの呼吸用保護具を装着させようとする、いくつかの異なるフェイスピースを再テストすることなどで、時間が無駄になることはありません。最終的に何とか合格結果が得られるまで数回以上同じマスクで再試験するという、非難される行為は起こらないでしょう。頭痛の元はより少なくなり、プロセスはよりスムーズに流れるようになります。

フィットテストプログラムを劇的に改善する簡単な方法の1つは、フィットテストを実施する人に1~3日間のセミナーに参加してもらうことです。フィットテストは、フィットテスト機器のボタンを押すだけではありません。

組織の呼吸保護プログラムで改善が見込めると思われる場合は、さまざまなソースから支援を受けることができます。呼吸保護とフィットテストトレーニングを提供するいくつかの組織を以下に示します。



UNDERSTANDING, ACCELERATED

TSI Incorporated - 詳細については、当社の Web サイト www.tsi.com をご覧ください。

米国	電話: +1 800 680 1220	インド	電話: +91 80 67877200
英国	電話: +44 149 4 459200	中国	電話: +86 10 8219 7688
フランス	電話: +33 1 41 19 21 99	シンガポール	電話: +65 6595 6388
ドイツ	電話: +49 241 523030		